

## 熊本地震

# 古河市から熊本・大分へ 支援の輪

4月14日夜に発生した熊本県を中心とする地震。最大震度7を観測し、規模の大きな地震が継続して発生しました。余震が続くなど地震活動が活発で、被害がさらに広がりました。

市では、被災地を支援しようと地震発生直後から支援を開始。市内施設9カ所に募金箱の設置や支援物資を送付しました。

さらに4月27日からは、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」を通じて熊本県・大分県に対する寄附の受け付けを開始。5月22日現在で559万9,000円の申し込みがありました。ふるさと納税災害支援として市にいただいた寄附は、全額熊本県・大分県に送付されます。

市では、これからも被災地復興のため、私たちができる支援活動に取り組んでいきます。



▲熊本市には、飲料水2,400本(ペットボトル530ml/24本入り×100箱)を配送 [4月18日]



▲大分市には、現地からの要望でブルーシート100枚を配送 [4月22日]

## スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用

# 中央運動公園テニスコートの夜間照明を LED照明に改修

中央運動公園テニスコート6面の夜間照明が設置から30年を経過し老朽化したことから、スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用し、LED照明に改修しました。

スポーツ振興くじ(toto)助成金は、地域のスポーツ振興や施設整備などを支援する独立行政法人日本スポーツ振興センターが、サッカーくじの収益を財源として行っています。

市では、平成27年度に1,600万円(事業費5,227万円)の助成を受け、夜間照明機器64台を改修。すでに3月に工事が完了し、多くの利用者にテニスコートを活用していただいています。



▲ナイター照明が明るくなったことで、利用者の安全性が向上しました